

「八幡市観光基本計画（素案）」に対するパブリックコメント（意見募集）の結果

1 募集概要

期間：令和6年2月9日（金）～2月29日（木） 21日間

方法：広報2月号、市ホームページで募集。

素案は市ホームページ、市役所閲覧コーナー、課窓口で公開、対象を市内在住、在勤、在学の人、市内に事業所を有する人。

提出は郵送、ファックス、メール、持参のいずれか。

2 意見状況

意見者数：10名 意見数：28件

3 意見の概要

意見種別	意見数	意見No.	素案内の意見箇所
1章	1	1	1. 計画策定の背景と目的
2章	1	2	③指標の達成度 表2 指標の達成度
	1	3	(4) 八幡市の強み弱み分析 (SWOT分析)
3章	1	4	3. 指標設定
4章	4	5～8	基本方針1 「神仏習合の聖地」の継承と創造
	6	9～14	基本方針2 東高野街道の保存・整備
	6	15～20	基本方針3 川辺を活かしたまちづくり
	5	21～25	基本方針4 観光からの産業創造
	1	26	基本方針5 観光推進力の強化
5章	1	27	1.4) 観光協会の役割
その他	1	28	「自動車解体業」の外観の改善について
合計	28		

4. パブリックコメントの意見要約とそれに対する市の考え

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
1	1.計画策定の背景と目的	<p>「市のブランディングによって価値を上げる、税収を増やし財政を豊にする、市内の商業を活性化して地域が豊かになる、市民が市内で働ける場所を拡大する」など、このような基本的な事を目的とした素案ではない様に思う。新しいインフラ、仕組み自体をつくらないといつまでも絵に描いた餅状態は続く。</p>	<p>本計画は、第1章1.「計画策定の背景と目的」において、文化観光(歴史的資源と自然資源の活用が基本)による観光産業の広がりを目指すこととしています。ご指摘いただいた、市のブランディングや市内商業の活性化などは、第3章2.「基本方針」で、示しております。</p> <p>また、新しいインフラ、仕組みにつきましては、第4章5-A「推進体制の構築」の中で、官民が連携したまちづくりのための組織を確立し、観光に関するワンストップの仕組みづくりを目指しております。</p>
2	③指標の達成度 表2 指標の達成度	<p>「基準年度よりも、実績値がさがったものも多く、今後上昇させていかなければなりません」とあるが、その答えがこの中にあると思ったが、具体的な対策がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光入込客」148万人を193万人(1.3倍)にするための具体的な方法及びその根拠は？ ・「観光消費額」53,700万円を85,000万円(1.6倍弱)にするための具体的な方法及び根拠は？ ・「外国人来訪者、宿泊施設稼働率、八幡への愛着を感じる市民の割合」も同じく具体的な方法とその根拠は？ 	<p>ご指摘の前計画の指標は、策定当時(平成29年)までの観光入込客数の伸び率から算出するなどし設定しました。石清水八幡宮と松花堂庭園の魅力向上を中心に、まずはソフト事業の展開によりインバウンド需要を取り込むことで通年の観光客を増やし、市内外の事業者の参入を誘発し観光消費額の向上を目指しましたが、コロナ禍による行動制限や入国制限などの影響もあり、目標の達成は困難な状況となっています。</p> <p>第2章3.で課題を整理し、新たな指標として、第3章3.で設定しております。第4章のアクションプランを進めことで、観光入込客数や観光消費額をはじめとする目標とする指標の達成を図ります。</p>
3	(4)八幡市の強み弱み分析(SWOT分析)	<p>「市民の意識醸成、滞在環境の整備、人材の確保を進める必要があります」と書かれているが、具体的にどう進めるのか。その答えが素案の中にない。</p> <p>チラシの配布、SNSの宣伝、電動自転車の貸与が答えになるはずはなく、市内観光循環バスを走らせる、土産物センターを造る、ホテルを誘致する、八幡古墳を売りにする、エジソン記念館を造る、オートキャンプ場を造るなど複数のインフラを民間と提携して具体的に整備しないと実現できる訳がない。</p>	<p>「市民の意識醸成」と「人材の確保」については、第4章5-B「観光人材の発掘と活躍」の中で、示しております。「滞在環境の整備」につきましては、基本方針1から5に沿って整備を進めます。</p> <p>いただいたご提案は、第4章2-Aで「宿泊」、第4章4-Cで「エジソン」に関する文言を加筆しました。その他のアイデアは、アクションプランを進める際に活用させていただきます。</p>

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
4	3.指標設定	<p>指標別に現状値と目標値が記載されているが、それぞれの指標における現状値の内訳、目標値の内訳がない。 例えば観光消費額の現状値 53,700 万円は何を積み上げた数字で、また、目標値 80,000 万円は現状値と比較して何を積み上げた数字で、内訳のそれぞれのアップ額はいくらかと算定した結果なのか。 また、1 年目から 6 年目までの時系列での目標値の推移額をどう設定しているのか。目標値の信憑性を裏付ける根拠が乏しい。</p>	<p>現状値の内訳は、同ページ下部の注釈および、第2章2. (1)「八幡市の観光の現状」の中に、グラフ等で示しています。 目標値については、下記の考えで算出し、推移については設定はしていません。 なお、一部令和5年の実績を踏まえ、素案から数値の見直しを行いました。 ・観光消費額:観光入込客数目標値に一人あたり観光消費額として 305 円を掛けて算出 （305 円は令和 5 年実績約 294 円を 10 円上昇させることを目標） ・観光入込客数:本市第5次総合計画後期計画の目標値を引用 （過去最高値である平成29年の約 260 万人を超えることを目標設定） ・一人あたりの使用額:現状値から、さらにお土産を1つ購入していただくことを目標として設定 ・外国人滞在者数:日本政府観光局の統計調査と観光庁の目標値より算出(10 年で 2 倍) ・アクセス数:観光入込客数および外国人滞在者数の増加率を基に算出 ・わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合:本市総合計画の目標値を引用</p>
5	1-A②男山四十八坊跡等、男山の環境整備と活用	観光客を増やすには、エジソン記念館の拡大・充実が必要。	「エジソンと八幡の竹の関係」は、本市観光資源の一つであると認識しており、第 4 章 1-A②「男山四十八坊跡等、男山の環境整備と活用」の中で「エジソンと八幡の竹との関係性にも注目し、竹林の美しさを活かした取組やPR」を展開します。また、令和4年度策定の「歴史的資源を活用した文化観光未来戦略」の中長期プランとして、エジソン生家博物館の建設を掲げており、第 4 章 4-C「駅前の空間づくりと観光事業者の誘致」に、「エジソン」に関する文言を加筆しました。
6	1-B 石清水八幡宮・山下の活性化、アクセス性の向上	頓宮の池や周りの環境を整えて、樟葉の美咲公園のような自然公園を作成して観光客をよびおこす。歴史的にも文化的にもここは駅前の良い資源であり活用価値がある。それこそ観光客を呼び起こす起爆剤になる。展望台よりもお金もかからないし観光客も行きやすい。	鉄道駅徒歩圏内に豊かな自然があることは、本市の観光資源の強みであると認識しています。 当該地は国指定史跡地のため制限があり、ご提案の「自然公園の作成」は困難ですが、環境を整え、来訪者に鎮守の森として石清水八幡宮の世界観を感じていただけるよう、第 4 章 1-B①内「頓宮周辺地区の魅力向上」、第 4 章 1-B②内「男山を歩いて上がりたくなるような仕掛けづくり」を図るとしており、いただいたご意見はその中で、参考とさせていただきます。
7	1-B②歩いて上がる仕掛けとアクセス性の向上	石清水八幡宮に上がる道路を拡幅してバスが通行できる、インフラ整備が必要。観光バスで石清水八幡宮に上がるルートの道路を拡幅整備して観光客の利便性を図り、ツーリズムバスツアーを増強して下さい。	石清水八幡宮の山上へ至る道路は住宅街の生活道路であり、石清水八幡宮山上駐車場は史跡であることから、観光バスの通行を目的とした拡幅は、現在考えておりません。そのため、山下の駐車場をご利用いただき、ケーブルや参道を使って、山上へ至る道中を楽しんでいただけるよう、第 4 章 1-B②内「男山を歩いて上がりたくなるような仕掛けづくり」に取り組むこととしています。

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
8	1-C インバウンド受 入体制整備 と発信	<p>八幡市が今後どのような取り込み方をするのが良いかを考えると、飛行神社や石清水八幡宮は国内外より、航空関係の方や安全、健康祈願、厄除けで知られている事から、日本に来た海外の富裕層及び、貿易交渉先の外国人の接待など、帰りの際の安全祈願のスポットとして活用してもらうことで、京都市内より観光需要に影響されず満喫いただける。また、八幡市に宿泊することを想定すると、飲食店も非常に少ない事から、各国の重要人物や富裕層をターゲットに絞り、それなりの話題性ある食事の提供等も必要。</p> <p>例えば四条司家の関係や皇帝料理人クラスの料理人に、地元産・京都産にこだわった食事を提供、伏見の酒蔵と提携して、エジソン竹の器にて日本酒を提供(おみやげとしても可能、料亭で竹の風味をわざとつける意味もあるよう)、宿泊施設に飲食スペースや温泉、外部に足湯スペースもあれば、普段は地域住民にも開放しつつ、宿泊予約の際には優先して利用頂くなど。</p>	<p>近隣の京都市や大阪市のインバウンド客を取り込むため、本市を訪れたくなるきっかけづくりや受入体制整備が必要であると認識しております。</p> <p>そのため、第4章1-C「インバウンド受入態勢整備と発信」の中で、高付加価値体験の提供や海外プロモーションなどを進めること、第4章2-C①「松花堂庭園の魅力創出」の中で、「高付加価値の体験提供や MICE 利用の推進」としてしております。いただきましたアイデアは、商品開発の際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、第4章1-C①「高付加価値の体験提供と受入体制整備」に、「地元産にこだわった飲食提供」の文言を加筆しました。</p>
9	2-A 古民家活用の 体制・仕組みづくり	<p>石清水八幡宮駅から松花堂庭園までの間に泊まりたいと思う何かがせめて2~3か所あれば、至るまでの流れが作りやすいのと、街全体で囲い込んでる感も出る。</p> <p>また、貴重な建造物の保存及び活用するのは大切だが、建物の安全性についても当然求められる。</p>	<p>第4章2-A「古民家活用の体制・仕組みづくり」の中で、東高野街道沿いの古民家を活用し、にぎわいを取り戻すため、まちの魅力向上に取り組むこととしており、「宿泊」に関する文言を加筆しました。</p> <p>また、活用の際には、安全性についても十分に配慮できる仕組みを検討します。</p>
10	2-A 古民家活用の 体制・仕組みづくり	<p>観光客を増やすには、宿泊設備誘致、民宿を増やす施策が必要。</p>	<p>観光客を増やし、観光消費額の増加につなげるためには、宿泊施設の拡充は重要な施策であると考えています。現在、歴史的資源を活用した宿泊事業の実現可能性を検討しており、第4章2-A「古民家活用の体制・仕組みづくり」の中に「宿泊」に関する文言を加筆しました。</p> <p>本計画では、宿泊事業者に限定しておりませんが、第4章2-B②「古民家を活用した事業推進」および、第4章4-B③「観光関連事業者の誘致」を進めることで、滞在環境を充実させるコンテンツを担う事業者の誘致を図るとしてしています。</p>
11	2-B 歩きやすい街 道の 環境整備と交通規制	<p>観光客を増やすには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東高野道を人が歩ける道へ(歩道の完備、車の通行・速度規制) ・歩行者利便性増進道路の指定・導入 ・市内通過車を生活道路に入れない規制 ・八幡宮駅周辺に人力車を走らせる <p>が必要。</p>	<p>第4章2-B「歩きやすい街道の環境整備と交通規制」の中で、楽しく歩ける環境整備を進めることとしていますが、新たな交通規制には沿道住民の同意を得る必要があり、また、人力車の運用は収益性や人員確保などの課題が多く、観光客を増やすための安全確保に関するアイデアとして、今後の参考といたします。</p>

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
12	2-B①歩きやすい街道の環境整備	<p>訪日外国人旅行者等が、石清水八幡宮駅から馬場運動公園・志水大道を經由して松花堂に散策、到着するまでの区間に、2カ所観光旅行者用向けのトイレ(洋式)を設置して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一カ所目、馬場運動公園と善法律寺が接する付近。 ・二カ所目、正法寺正門付近。 <p>理由:上記区間にトイレが無い。普及まで行政がイニシアティブを取って推進してゆく必要があると思う。</p>	<p>旅行者が石清水八幡宮駅から松花堂庭園までの街道を散策を楽しんでいただくために、トイレをはじめとする休憩および便益施設の必要性は認識しております。</p> <p>第4章2-A「古民家活用の体制・仕組みづくり」および第4章2-B①「歩きやすい街道の環境整備」の中で、トイレ環境について検討するため、文言を加筆しました。</p>
13	2-B②交通規制と誘客ルートの開拓	<p>「駐車場問題や歩行者の安全性確保について、地域住民とともに検討を進めます。」と記載されているが、ページの最上段の説明文には駐車場問題に関する事項が記載されていない。対応を検討するためにも記載する必要がある。</p>	<p>第4章2-B「歩きやすい街道の環境整備と交通規制」の文中に「駐車場のあり方」についての文言を加筆しました。</p>
14	2-C②ストーリーを活かしたソフト事業の展開	<p>観光客を増やすには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法話グランプリ等の集客イベントの定期開催 ・八幡飲食バルの実施 <p>が必要。</p>	<p>集客イベントを恒例化し数を増やすことは重要な取組であり、飲食イベントはこれまでの実績からも高い集客力があると認識しています。</p> <p>第4章2-C②「ストーリーを活かしたソフト事業の展開」の中で「集客力の高いグルメやフオトスポットと絡めスポット間を連携できる、イベントの充実を図る」としており、定期的な開催につながるよう文言を加筆しました。</p>
15	3-A 背割堤地区の水辺環境の整備とにぎわいづくり	<p>観光客を増やすには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御幸橋近辺での水泳場の運営(学校プール代替) ・三川周辺に広いオートキャンプ場を設置する。 <p>が必要。</p>	<p>国営公園である背割堤地区は、河川法等による様々な制約を受けるとともに、安全管理が必要であるため、ご提案の「水泳場やオートキャンプ」は課題が多いと考えていますが、「かわまちづくり計画」において、親水空間の整備やキャンプなどのアウトドアアクティビティによる賑わいづくりに国と連携し取り組むこととしております。</p>
16	3-B①舟運を活かした広域観光ルートの整備	<p>観光客を増やすには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊丹・関空とのアクセス整備 ・大阪、八幡、伏見を舟運で結ぶ ・阪急バスの八幡宮駅に乗り入れて阪急とのアクセス整備 <p>が必要。</p>	<p>第4章3-Bにおいて、背割堤地区は、大阪からの京都の玄関口として地理的な強みがあり、周辺地域の出発点および中継点となるハブ機能を強化することとしています。さらなる広域での誘客ルートの開拓を目指し、第4章2-B5行目「観光客が楽しめるエリア間の移手段」の前に、「鉄道だけでなく、バスや空港利用者のアクセス性向上に加え」を加筆しました。</p>
17	3-B①舟運を活かした広域観光ルートの整備	<p>観光客を増やすには、市内観光地を点から面に拡大するための観光ルートバスを走らせる(神社、寺、庭園、浴場、コストコ、一休寺、京田辺飲食店を結ぶ複数コース)ことが必要。</p>	<p>独自に観光ルートバスを走らせることは、実証実験の結果、費用対効果の面で問題があるため、第4章3-B①「舟運を活かした広域観光ルートの整備」の中で「船と電車、バス自家用車の組み合わせで移動する観光ルートを整備します。」としています。詳しいコースにつきましては、ご意見として賜ります。</p>

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
18	3-C 川辺をつなぐ 仕掛けづくり	橋本地域の遊郭の歴史を忌事として取り扱わずに、素晴らしい建築を文化財として残して観光資源にして欲しい。昔から住んでいる人達からすると恥ずべき歴史の部分もあるかと思うが、越して来て 10 年ほどのあいだに駐車場や新しい住宅が増えている。立派な作りの旧宅がどんどん姿を消していったとても残念。カフェなどにリノベーションしてうまく活用されている所もあるので、貴重な建物を残す助成、資料館や地域ツアーなどを通して観光資源として活用して欲しい。若い世代にとってはとても新鮮に感じると思う。	古建築活用に関して、第4章3-Cに「旧橋本遊郭跡」の文言を加筆しました。大々的に歴史資源としての保全を図り、住宅地内の建物を観光資源として PR していくためには、地元住民のご理解が不可欠であるため、いただいたご意見を参考に、今後、保全や活用方策について検討します。
19	3-C 川辺をつなぐ 仕掛けづくり	八幡には隠れた文化、あまり知られていない旧橋本遊郭跡に街並旅館とすばらしいステンドグラスが残っている。保存価値もありこれらを知ってもらいたいと思う。遊郭という捉え方もありますが、「なんでも鑑定団 TV」に放送されたのがきっかけで橋本遊郭にあるインコのステンドグラスがすばらしかったのだ。	
20	3-C②市内周遊環 境の整備	計画に八幡市の自然を楽しめる「大谷川沿いの散策ルート」を含めて頂きたい。 経路：石清水八幡宮駅前→放生橋→京阪鉄橋下(放生川右岸河川敷の道)→安居橋下(放生川右岸河川敷)→八幡橋東側→弥生橋を渡る→道路横断→麒麟堂向かって左側の川端の道を行く→八幡ゴルフ裏で大谷川を右折→この橋西側通過→西島橋西側通過→防賀川合流点→大谷川右岸土手→戸津堂田で国道1号線下通過→戸津五反田直進→大谷川公園→戸津池東岸→五月橋 帰路は大谷川左岸を通って石清水八幡宮駅に戻る。 このルートの途中には桜並木が数ヶ所あり、休憩用ベンチや、あずまやがある。また、途中には多種の水鳥が沢山遊弋し、京都野鳥の会の野鳥観察場所になっており、防賀川との合流点にはカワセミが生息している。戸津五反田付近の水田も野鳥の会の観察場所になっている。 河川敷はかなり荒れていて、大規模な清掃が必要だが、一部ではボランティアがほぼ毎日清掃している。また、上記の経路は整備されていて、自転車や徒歩での自然観察、花見等に最適。外国人にも好まれそう。 現状でも十分自然観察路として、安全に利用できるの、観光資源の一つとして取り上げてほしい。	第2章2.(2)②図 26 に「大谷川北緑道」と「大谷川公園」、図 27 に「大谷川北緑道」を、本市の資源をまとめた巻末の付属資料において、大谷川沿いの散策ルートについて加筆しました。

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
21	4-A①「ヤワタカラ」の認知度向上と販売促進	観光消費を増やすには、八幡でしか買えない商品を提供するコア施設(土産物センター)をつくる必要がある。⇒商業集積形成へ	第4章 4-A①『「ヤワタカラ」の認知度向上と販売促進』の中で、「観光客が手に取ることができる販売所設置などの新たな販路開拓に取り組みます」としており、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
22	4-A①「ヤワタカラ」の認知度向上と販売促進	費用が大きくなことはすぐにはできないので、まずは飲食の事業者に補助金などお金をかけられないのか。ヤワタカラの販売に関して、駅前や市内のコンビニエンスストアの販売ではなく、市内のデパートや東京などでのポップアップでほかの地域で売り出さないといけないと思う。目に留めてもらうことが大事。近江八幡市のたねやの成功事例や東京で松田聖子を採用など、ここまでとは言わなくともプロモーション戦略会議が必要。	第4章 4-A①『「ヤワタカラ」の認知度向上と販売促進』の中で、「新たな販路開拓に取り組む」こととしており、東京でのイベント出展はすでに実施しておりますが、恒常的な売り場確保は費用対効果が課題となっています。いただいたアイデアは、今後の参考とさせていただきます。
23	4-B 地域産業の活性化	八幡市に何かの目的で来たとしても泊まりたいと思う何かがないので、八幡市で滞在しようと思ってもらえるかを考えると、街全体で観光需要の囲い込みが必要。囲い込みの例として、企業誘致及び、開発協議にあたる条件として、建物の高さ規制の緩和をするなど、緩和策を求める相手側に対して、市にもメリットが出る提案をもっとするべきでは。一部を宿泊施設など市が活性化するような施設を建物内に設けてもらう条件にするなど。 観光、農業体験、宿泊については、地元企業の活用や、地元企業との連携がうまく取れれば、幅が広がると感じる。	第4章 4-B「地域産業の活性化」の中で「市内産業と観光連携産業が連携し、観光を通じた地域産業の活性化を促進することとしております。開発協議では必要に応じ地元貢献に関する要望をしており、観光を入口とした地域の活性化のため、事業者と連携する際の参考とさせていただきます。
24	4-C①エントランスとしてふさわしい駅前整備	・市が駅前の一部でも買えば、そこから何か大きく変わるのではないかと先日開催したシンポジウムでも、川や街並みについてのシンポジウムなのに、駅前のことを27%の人が回答していた。それだけ関心が高い。 ・石清水八幡宮駅の中をペンキで色を変えている。きれいにするのは良いと思う。塗装だけでも雰囲気良くなる。 ・御幸橋の看板は、門前町があると思って入ってきた人ががっかりしている。	石清水八幡宮駅周辺につきましては、まちの玄関口としてふさわしい駅周辺の整備に向け、これから関係者と連携し、観光だけでなく生活空間として多角的な視点から、目指す将来像を検討することとしています。 いただいたご意見は、今後の施設の維持管理や、目指す将来像を検討する際の参考とさせていただきます。 御幸橋南側の看板にある「門前町」の文言につきましては、かつてあった八幡宮門前の町場の賑わいの復活を目指している取組を表現したものです。

意見 NO.	意見箇所	意見の要約	意見に対する市の考え
25	4-C①エントランス として ふさわしい駅前整備	最優先は石清水八幡宮を中心とするまちづくりとしている割に石清水八幡宮駅前について基本方針 4-C という奥に追いやられている。 市の気持ちとして空中茶室よりも駅前の問題を考える方が観光者、住んである人両方にメリットがあるのではないか。	石清水八幡宮駅周辺につきましては、まちの玄関口としてふさわしい駅周辺の整備に向け、これから関係者と連携し、観光だけでなく生活空間という視点など多角的な視点から、目指す将来像を検討することとしております。 基本方針では、まずは、石清水八幡宮駅に近接する、石清水八幡宮、東高野街道、背割堤地区の観光施策を進め、石清水八幡宮駅前だけでなく、他の産業や地域の活性化につなげることを目指しており、現在の構成となっています。従いまして、方針4内で順序を入れ替え、「4-C①エントランスとしてふさわしい駅前整備」を「4-A①」とします。
26	5-A①推進組織の 形成	市が中心になってDMCを作ると言われているが、観光協会、空き家バンクとどう違うのか。作るなら市が中心になるのではなく、他から招き入れてほしい。	「5-A①推進組織の形成」の中で民間主導で確立するとしており、市内だけでなく市外の事業者も含めた推進組織の形成による事業展開を考えています。
27	1.4)観光協会の役 割	観光協会の強化が必要。観光協会はスキームを作る事が重要。SNSでの名所紹介以外に何をされているのかよく見えない。もっと観光客のニーズを探してそれに適合させた税収を増やせる事業を考え、実行してほしい。	八幡市観光協会につきましては、第5章1.4)「観光協会の役割」において「観光情報の総合窓口の機能を担います」としており、情報発信だけでなく、イベントの開催、旅行会社へのプロモーションなどに取り組んでいるところですが、ご意見を踏まえ、役割として「観光商品の企画や販売など地域に収益をもたらす取組」を加筆しました。
28	その他	観光客を増やすには、「自動車解体業」の外観の改善が必要。近隣市ではあり得ない。これが改善されない限り八幡はよくなる。外壁で囲うなど見えなくすること。	まちづくり全般の景観に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。